素材について

●本製品の木材について

・ヒノキ材は結の森プロジェクトの活動で行っている間伐もしくは主伐作業から出る木材を基本としていますが材料の入荷状況によって、その他のヒノキ材で対応させていただく場合があります。
・ナラ材及びブナ材は国内の商用として認められている森林より適切に取得した木材を使用しています。
・できる限り素材を無駄にせず活用するため、ご使用いただく際に支障がない節は取り除かずに製造しています。

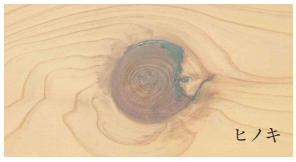
※間伐とは：育てようとする樹木どうしの競争を軽減するため、混み具合に応じて、一部の樹木を伐採すること。
※主伐とは：更新（伐採により生じた無立木地が再び立木地となること）を伴う伐採のこと。

●天然木の特徴について

・天然木は、同じ樹種の中でも産地、気候、土壌などの地理的要因や木の成長過程、製造過程を受けて変化することがあり、それぞれで表情は異なります。
詳しくは下部の事例画像をご参照ください。
・素材の風合いを重視した仕上げのため、元の材料の状態によって、木材の色合いや塗装の色の濃淡など、見た目が異なる場合がございます。
・メラミン化粧板等の一般的な家具の表面材に比べると柔らかく、ご使用方法によって傷・打痕がつく場合がありますが、それも天然素材の特徴であり、使い続けるとともに風合いが出てくる良さがあります。
・直射日光や紫外線の影響により、経年変化で色が変化していきます。
・伐採・製材・加工して「家具」になった後も、空気中の水分を吸収・放出するため、温湿度変化の激しい環境においては、伸縮により反りや割れが生じる場合がございます。

[天然木の特徴の事例]

・全樹種共通



大きな節がある材

小さな節がある材

材色の濃淡が激しい材

材色の濃淡が少ない材

材の木目が目立つ材

・ナラ、ブナなど広葉樹の特徴

トラフ
ナラやブナなどに見られる、木が栄養を蓄えている部分が虎の縞模様のような木目となって表れる例で、良材の証

スジ状の変色（イリカワ）
木が傷ついた時、自身を保護するためにスジ状の模様が濃くなる例

アテグロ
突板スライス後、木目の向きが変わる箇所の色が濃く現れる例